

新たに胃胸部検診車10号車が誕生しました！



ドアステップが低くなりました



胸部X線撮影台

新車の香りを
届けたい



胸部X線操作卓
ナースコール搭載

胃部X線操作卓

指示パネル

胃部X線撮影台

10号車の特徴

- ①胸部エックス線・胃部エックス線撮影装置を1台の車輻に搭載した胃胸部車としては、全長9メートルと短くコンパクトに設計し、駐車スペースの狭い場所への訪問を可能にしました。
- ②装置は、富士フィルムヘルスケア製のフルデジタル透視撮影装置FPD (Flat Panel Detector) で四隅まで透視下で確認が出来ます。II-DRシステムのデメリットであった歪や感度ムラがありません。
- ③「e-検査ナビ」(多言語胃部X線検査支援システム)を導入 耳が聞こえずらい方、外国人の方々へ検査指示をわかりやすく伝える事が出来ます。この装置は言葉のバリアフリーを実現し、「内閣府特命担当大臣表彰 優良賞」を受賞しております。

北関東初！ 胃部X線検査支援システム導入！

音声のみの胃部X線検査(バリウム検査)では指示がわかるか、伝わるか不安ではありませんか？

これからは、誰でも指示がわかる、誰にでも指示が伝わる検査に！

耳が聞こえづらい方、外国人の方々へ
検査指示をわかりやすく伝える



指示内容が「見える」
からわかりやすい

「外国人受診者」の検査を
スムーズに

「使いやすさ」と
「わかりやすさ」を両立

タッチするだけで伝わる！



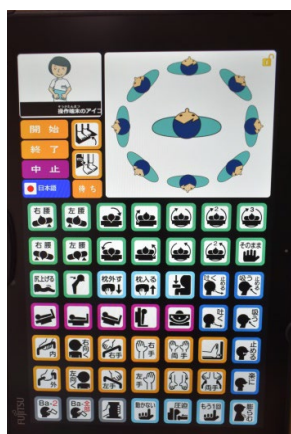
母国語で分かりやすい！



イラストと文字で
分かりやすい！



音声でされていた指示の内容が、検査室内の被検者に、文字だけでなくイラストやアニメーションでも表示できるようになりました。また、言語を選択すると、指示内容の文字と合成音声はその言語になります。イラストやアニメーションも表示されますので、外国人受診者に指示内容が伝わりやすくなりました。



誰もが健康で暮らせる未来のために

持続可能なまちづくりに向け、SDGsの推進に取り組んでいます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ユニセフがかかけるSDGsを実現すべく、

新たな時代のさきがけとして、ティーエムクリニック職員一同安心できる医療を提供します。



医療法人 クレモナ会

ティーエムクリニック

ティーエムクリニック

検索